

(令和2年12月3日)

12月2日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名、市内131例目及び132例目(県内149例目及び150例目)となる感染者が確認されました。

この2名はいずれも松江市在住で、70歳代と50歳代の男性でございます。

12月1日に公表しました市内130例目の方の濃厚接触者として、12月2日に検査を行った結果、陽性が確認されたものです。

なお、この方々はいずれも市内130例目の方と11月28日に松江市内の飲食店で会食を共にされた方でございます。

この2名はいずれも、濃厚接触者であることが判明した11月30日より、保健所の指導の下に自宅で待機し、本日、感染症対策を講じた医療機関に入院予定です。

現在、131例目の方は咳の症状、132例目の方は特に症状がございません。いずれも軽症と判断しております。

現在、患者の行動歴調査及び濃厚接触者の調査を実施しておりますが、調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広の検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

松江市においては、断続的な感染者の発生が見られていますが、感染経路が把握できています。

市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「換気と加湿」にお取り組みいただくとともに、年末に向けて機会が増える飲食の場面は感染リスクが高まる点などにご留意いただき、会食の際にも、会話時にはマスクをつけるなど、感染予防に引き続きのご協力をお願いいたします。

最近の市内の感染例は、いずれも県外地域との往来や県外者との接触が原因となっています。県外への移動がある方や県外の方との接触がある方は、特に感染予防に気を配る、健康管理を徹底するなどの取り組みをお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。感染への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者やその関係者を傷つけることなく、励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。